



ユース版

「屋高スーパースサイエンス」にA評価 文部科学省が公表

文部科学省はこのほど、平成二十三年度指定の全国三十八校についてのスーパーサイエンス校に対する、SSIH企画評価協議協力者による評価結果を公表した。それによると、「計画通り研究開発のねらいを充分達成している」とされるA評価は、別表の九校である。

この評価はA段階からD段階（狙いを達成しておらず事業目的に反している）までの4段階で判定されるもので、屋代高校は最高ランクのAとされた。長野県内指定三校のうち、Aランクは本校のみである。

SSIH評価協議は屋代高校について、「一人一研究の取組などを通して教員の共通意識や生徒の主体性を育むものとなっており、成果が出てい」と評価し、今後の課題として、「附属中学の併設で理科の中高一貫教育も可能になるので、連携した教育課

〈Aランク評価校〉

学校名	設置者
茗溪学園中学校・高等学校	茨城県・私立
川越高等学校	埼玉県・県立
小石川中等教育学校	東京都・都立
金沢泉丘高等学校	石川県・県立
屋代高等学校	長野県・県立
名古屋大学附属中・高等学校	愛知県・国立
膳所高等学校	滋賀県・県立
ノートルダム清心学園清心女子高等学校	岡山県・私立
致遠館高等学校・中学校	佐賀県・県立

平成二十六年年度の入学式は、去る四月五日（土曜日）、母校体育館で行われ、高校二・三名、附属中学八十名の計三六三名が入学を果たした。入学式における屋高英雄校長先生、宮崎和順会長の式・祝辞の要旨は次のとおり。

屋高英雄校長先生 の式辞（要旨）

教育の役割は、一人ひとりの生徒の自己実現を図り、次世代を担う人間を育てること、社会の変化に伴い、学校教育は大きく変わってきているが、その役割に変化はない。そのためには学校と家庭が連携を密にしながら、子ども達の成長を温かく見守っていただきたい。

本校は、創立の精神を引き継ぎ、常に新しい教育も導入して、新たに中高一貫教育は本年度をもって、一年生から三年生までが揃う運びとなった。

未だ見たことのない自分「未見の我」を探し追い求めるのが皆さんの大きな仕事。夢を持って自分の限界に挑戦し、大いなる自分探しの旅を楽しんでいただきたい。学び、考え、時に悩み、自分らしさを

宮崎和順同窓会長 の祝辞（要旨）

皆さんは名実共に屋代高等学校附属中学校、あるいは屋代高等学校の生徒として第一歩を踏み出されました。これからの学校生活の第一歩に渾身の力を注ぎ、堅実に前進していく。そういう意味で、今が動き、未来を創りださるダイナミズムを感じる学校だからこそ、生徒も職員も一人一人が新たな歴史を創っていくという意味で、一丸となって課題に立ち向かっていきたい。

最後に、生徒に期待すること。自分を信じ、人を信じて、素直に、誠実に、実直に生きていってほしい。人との出会いは偶然。学校で出会った先生、出会った教材とことごとく信じていく。自分の未来が開けていく。そして、自分の命も人の命も大切に、人のため世のために貢献しつつ、豊かな人生を歩んでほしい。

平成二十六年年度スタート

入学式で曾祖父の校歌を聞きました！ 「附属中学校に入学して」

入学して三か月が経ちました。毎日、勉強や班活動に頑張っています。入学した当初はクラスに同じ小学校出身者がいなかったため、友達ができなかつたので、友達ができるかとても不安でしたが、クラスの皆が友好的で、すぐに友達ができただけで、すごく嬉しかったです。

私の曾祖父は、屋代高校の校歌を作詞した佐竹盛富です。私が卒業した上山田小学校の校歌も作詞したそうです。なかなかそういった経験をできるといことはないと思いますので、私はすごくいい経験をしたいと思っています。

校歌の歌詞にもあるように、質実剛健を目標にし、毎日の学習をしていくことを期待しています。

ユネスコ21世紀教育国際委員長のジャック・ドロールさんが、学習の意味について、「農夫と子どもたち」から述べています。「父親が死を目前に『取入れが済んだら農地を隅から隅まで耕せ。宝物が出てくる』と言った。子ども達はそれを信じて、農地を隅から隅まで耕したが宝物は出てこなかった。ところが翌年、豊かな実りを得た。』という寓話です。この意味を味わって、『質実剛健』の気風の中で、学習に励んでいただきたい。

連載・私の附属中時代（その三）

「中ドルミ」は可能か・・・卒業して四年たっても後輩に会える学校

東京大学・大学院経済学研究科一年 後藤 尚



開成高等学校で、経済学部の学生として、卒業後、東京大学に入学し、大学院に進学し、現在は東京大学で博士課程の学生として、経済学を専攻しています。

この度は、屋代高「ユース版」に、中高一貫のメリット、デメリットについて、一学生の見解を述べる機会を頂き恐縮しています。

私は東京の中高一貫校に通っていましたが、その学校に通うことが出来て良かったと思っています。中高一貫に通うメリットの方が大きいと考えています。私の学校では、部活動は中学部と高校部に分かれることなく、中学一年生から高校三年生まで一つ

高校三年生にとっては六年間の集大成なので、部活も行事も必死で取り組みます。その熱意が伝わると、中学一年生も真面目に活動に参加するようになる。そうして十三歳の頃から六年間を駆け、一つのことに真剣に取り組んでいく経験はとても貴重なものだと思います。また、恐らく最

柵田体験学習を終えて

副校長 北沢 芳洋 先生

六月二日、古今和歌集にも詠まれ名月の里として知られる、懐しの柵田で、二期生八十名が体験学習をさせていただきました。汗ばむほどの日差しのもと、名月会の皆様の指導を受けながら田植えを行いました。善光寺平を望む高台の柵田で、水田の土の感触や水生生物との遭遇に歓喜しながらも、無事田植えを終えることができました。生徒は、次のように学習を振り返っています。

「田植えの後に食べたおにぎりや味噌汁の味は格別だった。当たり前だが、おにぎりに多くのお米が感謝したい。食糧の重要性や農業に対する理解を深めることができた。多くの人の努力で柵田の美しい景観が守られている。災害を防ぐ効果もあるということには驚いた。柵田の水の管理には先人の知恵が生きている。協力することの大切さを改めて感じました。」



写真提供：副校長 北沢芳洋先生

ひと・クローズアップ

第30代屋代高校 校長先生 塩野英雄



昭和36年安曇野市生まれ。東京大専小海村篠大を卒業。文部科学省で勤務。その後、松本大学で教員として勤務。現在、屋代高校校長として勤務中。

○まずは着任のご感想からうかがいます。
—伝統ある学校に着任し、任の重みを感じている。生徒は素直でまっすぐで、気持ち良い挨拶や礼儀正しさを、そして内に秘めた夢や目標に向けて

て、勉学にクラブ活動に生徒会活動に真摯に取り組む姿に、日々感動をもらっている。
○大学では、フランス文学を専攻されたとうかがいます。
—中学では担任の英語の先生の影響で、高校では小林義昌先生ほかの影響で、外国語への関心が深まった。大学一、二年では、文法理論から文学、第二外国語としてのフランス語、ドイツ語、ラテン語、ギリシャ語、ハンガール語、中国語、スペイン語なども学びました。

程の構築や科学オリンピック等への生徒の参加増を期待している。屋代高校SSIH委員長清水久樹先生は「長野県教育委員会はSSIH運営指導委員、生徒、保護者、教員、そして地域が一体となって取り組んできた成果と誇りに感じています」と所感を述べられた。

これらの生徒の言葉からは、努力して一つのことを終えた達成感、食糧への感謝、環境保全の大切さ、先人の知恵や努力の素晴らしさ、仲間と協力することの大切さなどを学ぶ貴重な体験となったことが伝わってきます。

汗を流す体験を通じた学び、五感を通じた学びは、見た物や触れた物に対する確かな理解を得ると共に、豊かな人間性や健全な心と体の育成につながります。今後も「質実剛健」「文武両道」を目指して本校の教育活動の一つとして大切に参りたいと考えております。ご理解とご支援をお願いいたします。

新任の教頭先生に聞く

教頭
北島 匡晃 先生



①これまでどんな学校等に勤務されたのですか。
南信の阿智高校を初任として、長野東高、長野高として現在、母校の屋代高校でお世話になっています。

②専門とされる分野はどんな方面ですか。
理科(生物学)が専門です。大学では、農学部生物学科に所属し、植物病理学を専攻する中で、土壌微生物(糸状菌・アズキの立枯れ病菌)について研究しました。

③趣味は何かが得意でしょうか。
スポーツ全般。特に高校、大学と続けた野球です。最近では、ゴルフ、オートバイでのツーリングも始めました。他には、家庭菜園。「編集部誌」高校↓北大を通じて投手として活躍。高

校3年生の昭和53年春季大会で、須坂園芸高校を相手に完全試合を達成(試合は10-0)し、一躍注目されました。

④教頭着任の感想をお伺いします。
母校である屋代高校には、今年度でちょうど10年勤務させて頂いた、ありがたいです。可愛い後輩のために、微力ですが精一杯精進したいと思っています。

⑤生徒への期待はどうでしょうか。
素直さ、謙虚さを持ち続けること。そして、自身を冷静に分析し、自ら考え、周りに流されずに自信を持って行動すること。道は必ず拓けると信じています。

⑥今後の課題等について伺います。
学力をつけることは勿論ですが、人の心の痛みがわかり、逆境を乗り越えるたくましい精神力を持った骨太の人間に成長してほしい。そのため、互いを認め合い、切磋琢磨できる環境を整えていきたいと思っています。

フィオナ先生のパズルコーナー Fiona Sensei's English Puzzle

○次の文を数式に直して、解を求めよ。

A man and his wife worked in a catering business. One Monday morning they received a large order for cabbage and apple salads. However, when they looked at their supplies of apples and cabbages they realised that they would need to buy more ingredients in order to complete this order. The man raced off to the shops without stopping at the bank on the way. He knew that he had two thousand yen in his wallet, and he knew that that would be enough for what he wanted to buy. That day he bought six apples and seven cabbages and spent one thousand four hundred and fifty two yen.

However, when he got home, he discovered that one of their farming neighbors had dropped in some fresh cabbages. This meant that he now had too many cabbages. The next day he sold four of the cabbages that he had bought on Monday to his friend for the same price that he bought them for but bought five more apples. On Tuesday night he had three hundred and forty one yen left in his wallet. How much did he pay for the apples and cabbages?

【編集部註】

The three best answers will be rewarded with a 10,000 yen book card each in solving the above puzzle by Fiona Sensei. The dead line will be Aug.20. Both junior and senior high school students can apply. Please visit the alumni office with your answer.(The office hour is from 1 p.m.to 5 p.m.)

新入生の保護者から「魅力ある附属中に」

平成26年度入学生保護者 宮下 恵理子

この春、幸運なことに息子が憧れの附属中に入学することができました。息子を附属中で学ばせたいと思ったきっかけの一つは、学校説明会での中学生による研究発表でした。研究を始めるきっかけ、結果、考察を実に堂々とわかりやすく説明していました。日本人はプレゼンが苦手と聞きますが、中学生がこれだけしっかりと人に伝えることが素晴らしいと思いました。

もう一つは授業参観。どんよりと気だるい雰囲気はなく、授業はスピーディーで、生徒もはきはきと答えていて驚きました。これらの驚きは、入学後も裏切られることはありませんでした。最初の授業参観は英語でしたが、内容はサザエさんの家族の気持ち、行動を英語で考えるものでした。生徒は楽しそうに学んでいましたし、私も楽しく見させていただけました。教科書に基づいた受け身の授業ではなく、楽しい雰囲気の中で考え身につけさせる先生の工夫が感じられました。

幅広い教養を身に付けることは当然ですが、グローバル化の今、常に問題意識を持ち、考え、追求し、それを人に伝える力を身に付けるということが大切だと思います。また、一般に「附属中」勉強のイメージが強いのですが、校長先生が朝、校舎外に出て生徒に挨拶をしたり、ゴミ拾いもされておられるとのこと。このような人間として大切なことを教育されていることが嬉しく思います。生徒も人間力を身につけ、自主的に行動できる人間に育って欲しいと思います。

あの有名な開成中も「質実剛健」を校風としていますが、屋代高附属中も同等の学力を目指すと共に、心身ともに逞しく人間の魅力のある生徒を育てていただきたいと思っています。県内初の公立中高一貫校として、長野県の教育をリードする新たな伝統を作っていくことを期待します。

附属中担任先生の紹介

3年A組担任

宮澤 宏 先生

- ①これまでの勤務校 ②大学での専門分野 ③ご趣味 ④着任所感 ⑤中学生への期待

1年A組担任
山崎 聡 先生

- ①東京学芸大学附属高・大泉校舎↓松代中↓南箕輪中↓植生小
- ②数学教育学
- ③大学院での研究テーマは「算数・数学におけるオーブン・エンドの問題の開発」
- ④ドライン
- ⑤本校で2回目の中学1年生の担任です。昨年度までの経験をもとにして、3期生とともに完成形を迎えた附属中学をさらに盛り上げていくことができればと思っています。

- ①高い志をもった仲間と切磋琢磨しながら、お互いを高め合っていくってほしい。自分の将来を見据えて、今やらなければならないことに、精一杯取り組んでもらいたい。
- ②母国語を英語としない国の英語教育について
- ③子どもと遊ぶこと
- ④第3期生とともに、附属中の成長に役立てられればと思います。
- ⑤中学校生活で学ぶことは沢山あります。イスにすわって学ぶことだけでなく、体をうごかしながら多くのものを学んで成長してください。

3年B組担任
山辺 和徳 先生

- ①神奈川県立大清水高↓長野東高↓高遠高↓松本蟻ヶ崎高↓野沢北高↓丸子修学館高
- ②哲学・倫理学、卒業論文は「カントの時間論」
- ③旅行(国内・国外)
- ④清々しい挨拶をしてくれる生徒が多く、理想的な学園だと思っています。授業への集中度も高い学習集団であり、日々やりがいがあります。
- ⑤受け身だけの生活や生き方ではなく、常に前向きに主体性をもって自分自身を切り拓いてください。

1年B組担任
丸山 拓磨 先生

- ①白馬中↓小谷小↓真田中↓高瀬中
- ②母国語を英語としない国の英語教育について
- ③子どもと遊ぶこと
- ④第3期生とともに、附属中の成長に役立てられればと思います。
- ⑤中学校生活で学ぶことは沢山あります。イスにすわって学ぶことだけでなく、体をうごかしながら多くのものを学んで成長してください。

◆編集後記◆

附属中学校の開設にあたり創刊した「ユース版」が第3号を迎えました。お忙しい折、玉稿をお寄せくださいました関係皆様には心より厚く御礼を申し上げます。また取材については、「鳩」が丘新聞一職員(以下の皆様)にもご協力をいただきました。

二年 大澤賢也君・駒村智哉君

附属中・高校生を問わず、鳩が丘新聞の編集に興味ある方の入班をお待ちしています。(国語科・吉沢道夫先生までお知らせください)

人・インタビュー

日本学術振興会「第4回育志賞」を受けられた
小林 篤史 さん



○育志賞を授与された「19世紀の東南アジア地域経済の発展における域内交易の役割」の中で、小林さんが提唱

されたことを教えてください。
更埴西中出、高校第56回生(平成16年卒業)。高校時代はサッカーで活躍。筑波大学人文学部から京都大学大学院を修了。「19世紀の東南アジア地域経済の発展における域内交易の役割」により、130の論文の中から2014年度の育志賞受賞の栄誉に輝いた。現在、日本学術振興会・特別研究員として、政策研究大学院大学に所属。

の姿が見えてきたことだと考えています。
東南アジア経済に関心を抱いたのは、私に「東南アジア域内交易」という分析枠組みを構築し分析したことです。
その分析からどんな結論を得られましたか。
19世紀以前、東南アジアには多様な社会が存在し、ローカルな市場に精通した現地商人が、域内交易において主体的に活動したことで、東南アジア諸地域をつなぐ域内交易の成長をもたらしたといえます。私の分析から、現地の実態に即した、自律的な地域経済

の姿が見えてきたことだと考えています。
東南アジア経済に関心を抱いたのは、私に「東南アジア域内交易」という分析枠組みを構築し分析したことです。
その分析からどんな結論を得られましたか。
19世紀以前、東南アジアには多様な社会が存在し、ローカルな市場に精通した現地商人が、域内交易において主体的に活動したことで、東南アジア諸地域をつなぐ域内交易の成長をもたらしたといえます。私の分析から、現地の実態に即した、自律的な地域経済

の姿が見えてきたことだと考えています。
東南アジア経済に関心を抱いたのは、私に「東南アジア域内交易」という分析枠組みを構築し分析したことです。
その分析からどんな結論を得られましたか。
19世紀以前、東南アジアには多様な社会が存在し、ローカルな市場に精通した現地商人が、域内交易において主体的に活動したことで、東南アジア諸地域をつなぐ域内交易の成長をもたらしたといえます。私の分析から、現地の実態に即した、自律的な地域経済

の姿が見えてきたことだと考えています。
東南アジア経済に関心を抱いたのは、私に「東南アジア域内交易」という分析枠組みを構築し分析したことです。
その分析からどんな結論を得られましたか。
19世紀以前、東南アジアには多様な社会が存在し、ローカルな市場に精通した現地商人が、域内交易において主体的に活動したことで、東南アジア諸地域をつなぐ域内交易の成長をもたらしたといえます。私の分析から、現地の実態に即した、自律的な地域経済

の姿が見えてきたことだと考えています。
東南アジア経済に関心を抱いたのは、私に「東南アジア域内交易」という分析枠組みを構築し分析したことです。
その分析からどんな結論を得られましたか。
19世紀以前、東南アジアには多様な社会が存在し、ローカルな市場に精通した現地商人が、域内交易において主体的に活動したことで、東南アジア諸地域をつなぐ域内交易の成長をもたらしたといえます。私の分析から、現地の実態に即した、自律的な地域経済